



令和8年5月18日
小平市立花小金井南中学校
保健室

耳鼻科検診のお知らせ

定期健康診断の一環として、耳鼻科検診を下記の日程で行います。

日時 令和8年5月19日(火) 8:45~

対象 全学年

場所 保健室

担当校医 井上 斉先生(井上耳鼻咽喉科)

- 注意事項
- ①前日に耳掃除をしておきましょう。
 - ②待っている間は静かにしましょう。
 - ③自分の番がきたら、名前をはっきり言いましょう。
 - ④髪の毛は耳にかけるか結ぶかして、耳を出しておきましょう。



耳鼻科検診の受け方



- ① 記録の方に番号と名前を伝える。
- ↓
- ② 右耳を見せる
- ↓
- ③ 左耳を見せる
- ↓
- ④ のどを見せる
- ↓
- ⑤ 鼻を見せる

<p>耳をみますので かみの毛は耳に かからないように。</p> <p>「×だよー!」</p>	<p>横をむいてすわり、耳をみてもらいます。 先生は、<small>じぶよう</small>耳鏡という道具で耳のおくを のぞきます。</p> <p>耳鏡</p>
<p>前をむいてすわったら、鼻の中をみてもら います。先生は鼻鏡という道具を使います。</p> <p>鼻鏡</p> <p>「鼻のあなをグイッと ひろげろんだよ。」</p>	<p>口を大きくあけてのどをみてもらいます。 先生は舌圧子という道具を 使って舌(べろ)を おさえます。</p> <p>「あーん!」</p> <p>舌圧子</p>

✂ 検査の前日には、耳は鼻のそうじをきれいにしておきましょう ✂



マスクは、自分の前の人が検診を受けているときにずらしません。
流れが早いので、スムーズに動きましょう。

裏面へ続く

耳鼻科検診で見つかる病気



耳垢栓塞

耳あかがたまって、固まってしまった状態です。この状態になると、耳が聞こえにくくなったり、耳鳴りがしたりします。

家庭ではとれませんので、耳鼻科に行って、やわらかくして取ってもらわなければなりません。



副鼻腔炎

鼻の奥の方が炎症を起こしている状態です。鼻づまりがひどく、色のついた鼻汁がでます。

症状が続くと慢性化するの
で、できるだけ早く受診を
する必要があります。



アレルギー性鼻炎

鼻水、くしゃみ、鼻づまり、頭痛、体のだるさ、涙が出るなどの症状があります。症状がかぜに似ているので、医療機関でアレルギー検査をしてもらう必要があります。

原因には、ハウスダスト、花粉、カビ、ダニ、犬や猫の毛、そばがらの枕などがあります。原因をつくらないためにも、こまめに部屋を掃除しましょう。



しんしゅつせいちゅうじえん 滲出性中耳炎

はっきりとして原因は分かっていません。ただ耳管の機能障害があり、中耳に弱い炎症が見られる場合、副鼻腔炎や急性中耳炎にかかった人はかかりやすいといわれています。

「少し聞こえにくい」
「耳が詰まったような
感じになる」「耳鳴りが
する」などの症状があります。



しかんきょうさく 耳管狭窄

耳管が塞がれたり狭くなったりする病気です。風邪、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、扁桃炎などの鼻やのどの炎症により鼻の奥にある耳管開口部周囲に炎症を起こすことが主な原因です。



へんとうひだい 扁桃肥大

のどの奥の方、両側にぽこっと丸く見えるのが扁桃腺です。これが大きくなっている状態を扁桃肥大といいます。

ただ大きいだけなら治療はしなくてもよいのですが、食べにくくなったり、息がしにくくなったら、手術が必要になる場合もあります。



耳鼻科検診時に治療が必要と判断された人には、後日「耳鼻科受診のお知らせ」を配布します。プールの授業に支障がでる病気もあります。なるべく早く耳鼻科を受診しましょう。

